

家 庭

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	家庭 5 0 3	A 4 150	令和 5 年 (2 冊)
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	家庭 5 0 4	A 4 154	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	児童の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの ③肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの
	2 障害への配慮を要する内容等	①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの ③アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なものの
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に示されているもの

小学部 家庭(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東書	開隆堂
内 容	内容A「家族・家庭生活」 (ページ数の量)	25	24
	内容B「衣食住の生活」	89	91
	内容C「消費生活・環境」	8	14
	調理、製作などの実習や観察に関する項目	24	32
	情報の収集・整理、調査、実験などに関する事項	41	31
	生活をよりよくする工夫を考えたり、説明したりする活動が取り上げられている箇所数	38	40
	家庭や地域等における実践化を促す課題を取り上げている箇所数	28	26
	安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数	37	31
	各教科等とのつながりや、発展的な内容を取り上げている箇所数	46	41
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの	20箇所 ①「ゆでる調理でおいしさ発見」では、食品を加熱した時の変化を見て記録する活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P23) ②「気持ちがつながる家族の時間」では、家族の団らんの計画を立て、実践する学習があり、生活経験を広げることができる。(P63)	19箇所 ①「暖かい住まい方で快適に」では、学校内の様々な場所の温度や湿度、明るさを調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P71) ②「できるよ 家庭の仕事」では、家庭の仕事を実践し、振り返って次の実践に生かす活動があり、生活経験を広げることができる。(P35)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの	6箇所 ①「あなたは家庭や地域の宝物」では、家の周りの音を探して、自分と地域の音との関係を考える「マイ音マップ作り」の活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P130)	3箇所 ①「すずしい住まい方で快適に」では、学校内の音の大きさを測る活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P107)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	12ポイント	12ポイント
	欄外の文字の大きさ	9ポイント	7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの	①作業手順や学習のポイントなどが、イラストや写真等で視覚的に示してある。(P98-99など)	①作業手順や学習のポイントなどがイラストや写真等で視覚的に示してある。(P40-41など)
②図やイラストで安全に関する事項を取り上げた箇所	31箇所	32箇所	
参考	防災自然災害の扱い	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	なし	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし
固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし	

小学部 家庭(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東 書	開隆堂
内 容	内容A「家族・家庭生活」 (ページ数の量)	25	24
	内容B「衣食住の生活」	89	91
	内容C「消費生活・環境」	8	14
	調理、製作などの実習や観察に関する項目	24	32
	情報の収集・整理、調査、実験などに関する事項	41	31
	生活をよりよくする工夫を考えたり、説明したりする活動が取り上げられている箇所数	38	40
	家庭や地域等における実践化を促す課題を取り上げている箇所数	28	26
	安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数	37	31
	各教科等とのつながりや、発展的な内容を取り上げている箇所数	46	41
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの ③肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの	37箇所 ①「食べて元気！ご飯とみそ汁」では、ご飯を炊きながら、米粒の動きの様子、音、香り等を観察する活動が示してある。(P46) ②「持続可能な社会へ物やお金の使い方」では、必要なものを手に入れる方法について様々な例が示してある。(P37) ③「あなたは家庭や地域の宝物」では、地域には子供や高齢者、障害がある人など、様々な人々が暮らしていることが分かるイラストの中に、車いすの人が地域を移動している様子が示してある。(P128)	36箇所 ①「食べて元気に」では、みそ汁を作るだけでなく、湯にみそを溶いたものとだし汁にみそを溶いたものを飲み比べる活動が示してある。(P53) ②「クリーン作戦で快適に」では、学校内の汚れを調べ、汚れの種類や原因について話し合う活動が示してある。(P95) ③「整理・整とんで快適に」では、生徒が整理・整とんについて話し合っているイラストに、車いすの生徒が示してある。(P33)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの ③アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの	54箇所 ①「ひと針に心をこめて」では、はさみや針の取扱いがあるため、学習の際に配慮を要する。(P29) ②「ゆでる調理でおいしさ発見」では、火や包丁の取扱いがあるため、学習の際に配慮を要する。(P22) ③「ゆでる調理でおいしさ発見」では、ゆで卵を作る学習があり、アレルギー疾患等への配慮を要する。(P25)	54箇所 ①「ソーイング はじめの一步」では、はさみや針の取扱いがあるため、学習の際に配慮を要する。(P20) ②「クッキング はじめの一步」では、火や包丁の取扱いがあるため、学習の際に配慮を要する。(P15) ③「食べて元気に」では、みそ汁を作る学習があり、アレルギー疾患等への配慮を要する。(P52)	
本文の文字の大きさ	12ポイント	12ポイント	
欄外の文字の大きさ	9ポイント	7ポイント	
ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	
障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの ②写真、図表等で視覚的に示されているもの	①各単元の冒頭に、学習の流れを3ステップで示している。(P12など) ②「まかせてね今日の食事」では、献立の構成が実物の写真と図で示してある。(P113)	①各単元の冒頭に、枠囲みで学習のめあてが示してある。(P8など) ②「クッキング はじめの一步」では、じゃがいもや卵の加熱時間による変化を、時間とともに写真で示してある。(P16-17)	
③図やイラストで安全に関する事項を取り上げた箇所	31箇所	32箇所	
参 考	防災自然災害の扱い	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	なし	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	なし

